

# 「職業実践専門課程(仮称)」の具体的イメージ(案)

## 企業等と密接かつ組織的な連携体制を確保して授業科目等の教育課程を編成

- ・企業等との連携による「教育課程編成委員会」によるカリキュラムの改善 …P.1

## 企業等と密接かつ組織的な連携体制を確保して演習・実習等を実施

- ・企業等との連携による「接客・販売実習」「マーケティング実習」 …P.2
- ・企業等との連携による「ホテル実習」 …P.3
- ・企業等との連携による「電気工事实務」 …P.4
- ・企業等との連携による「日本ゲーム大賞制作実習」「ゲーム作品制作実習」 …P.5

## 教員に必要な実務上の知識・技術・技能や指導力の修得・向上を目的として企業等との連携の下、組織的な研修機会を確保

- ・企業等との連携による教員の研修機会の確保の具体例 …P.6

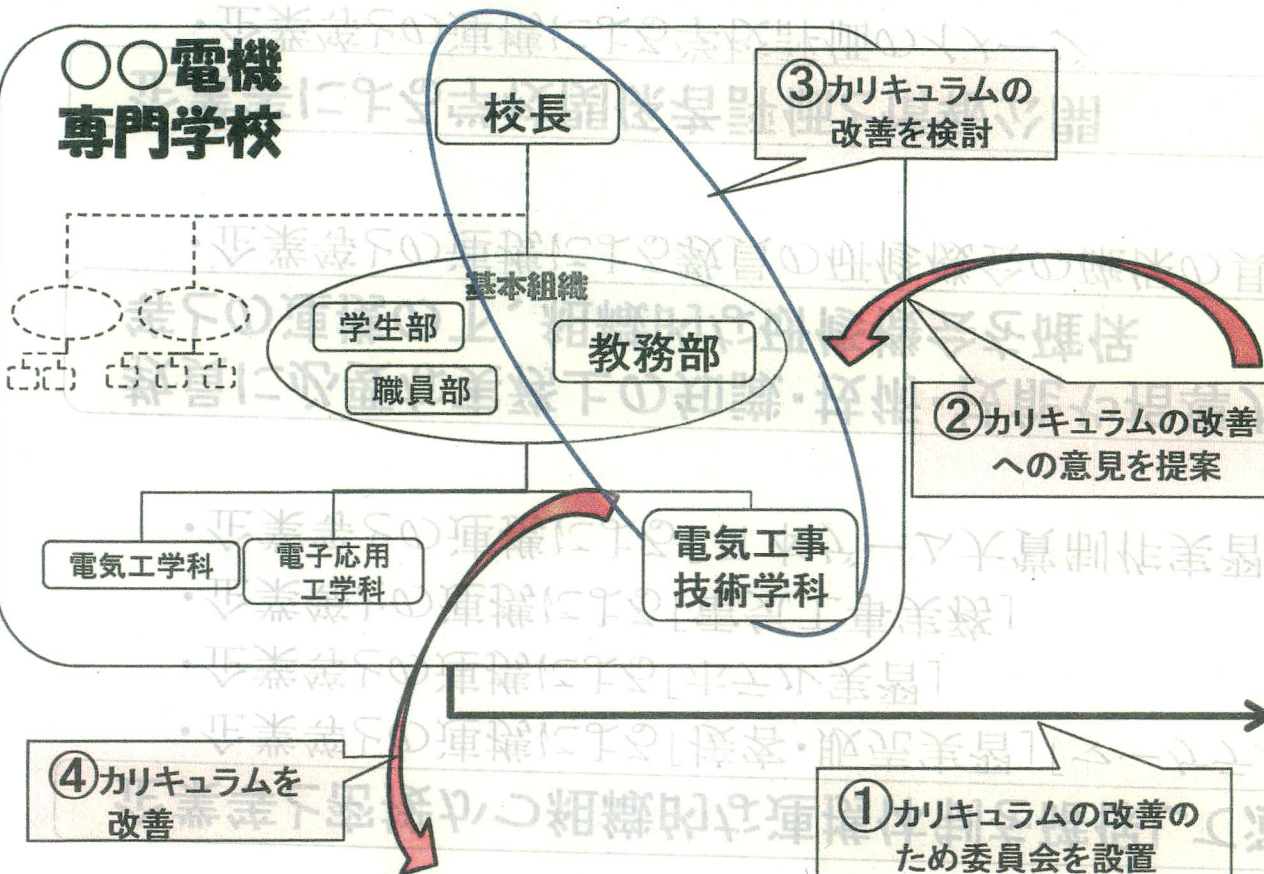
## 企業等による学校関係者評価と情報公開

- ・企業等との連携による学校評価のイメージ …P.7



# 企業等との連携による「教育課程編成委員会」によるカリキュラムの改善《工業分野》

## 〇〇電機専門学校



## △△専門課程「教育課程編成委員会」

### 目的

企業等との連携により、最新の知識・技術・技能を反映するために、カリキュラム等の教育課程の改善を定期的に行う。

### 委員

- ▽▽ ▽▽ 〇〇電機専門学校教務部長
  - ▽▽ ▽▽ 産学連携企画室長
  - ▽▽ ▽▽ 電気工事技術科長
  - ▽▽ ▽▽ (社)□□電機技術協会課長
  - ▽▽ ▽▽ ◇◇ハウス(株)マネージャー
  - ▽▽ ▽▽ (株)△△電機工務部主任
- ※ 委員は広く関連の企業や団体から選任。

## 電気工事技術学科の新たなカリキュラム



高電圧設備基礎

電気基礎理論

配電理論・配線設計

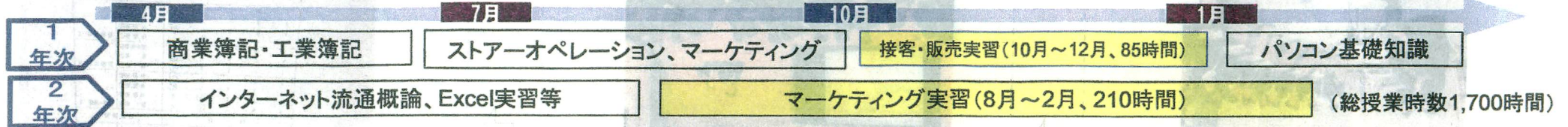
## 企業から参画した委員の主な意見

- ・ 新成長産業である太陽光発電装置に関する内容をカリキュラムに取り込むべき。
- ・ スマートハウスなどの普及により高度化する知識・技術・技能を修得した電気工事士の育成が必要。

※ 「スマートハウス管理実習」と「太陽光発電装置施工実習」が、カリキュラムの見直しにより新たに採り入れられたもの。



# 企業等との連携による「接客・販売実習」「マーケティング実習」《商業実務分野》



## 1. 企業と学校の打ち合わせ

- ・実習目標、評価方法等の確認。
- ・実習に関する覚書の締結。

実習内容について  
覚書締結

販売実習実施に関する覚書

学校法人 学園（以下「甲」とする）は、本学園の販売・営業サービスコース、ファッション&雑貨ビジネスコース、総合キャリアコースの学生を対象として、販売実習を実施する。この販売実習について、株式会社（以下「乙」とする）と下記のとおり合意する。

記

1. 対象学生 販売・営業サービスコース  
ファッション&雑貨ビジネスコース  
総合キャリアコース 1年生 77名

## 2. 企業からの講師派遣による事前研修・講義

- ・学生に対し、企業の実習担当者から事前研修・講義。



## 3-1. 販売実習

- ・企業の実習担当者の指導の下で、接客・販売の実習。



## 3-2. マーケティング実習

- ・店舗見学を実施し、エリア特性を考慮した収益UPの企画等を立案。



## 6. 成績評価・単位認定

- ・事前に打ち合わせた基準に基づき、企業の担当者が評価。
- ・企業による評価に基づき、教員が成績評価、単位認定。

成績評価・単位認定

実習担当者総合意見

項目	評価	コメント
1. 実習態度	◎	全体的に良い
2. 実習成果	◎	全体的に良い
3. 実習内容	◎	全体的に良い
4. 実習時間	◎	全体的に良い
5. 実習場所	◎	全体的に良い
6. 実習内容	◎	全体的に良い
7. 実習時間	◎	全体的に良い
8. 実習場所	◎	全体的に良い
9. 実習内容	◎	全体的に良い
10. 実習時間	◎	全体的に良い
11. 実習場所	◎	全体的に良い
12. 実習内容	◎	全体的に良い
13. 実習時間	◎	全体的に良い
14. 実習場所	◎	全体的に良い
15. 実習内容	◎	全体的に良い
16. 実習時間	◎	全体的に良い
17. 実習場所	◎	全体的に良い
18. 実習内容	◎	全体的に良い
19. 実習時間	◎	全体的に良い
20. 実習場所	◎	全体的に良い

## 5-1. 教員による店舗訪問

- ・学校の担任が実習先を訪問し、実習態度を確認。
- ・学生の課題を企業の実習担当者と共に共有、指導。



## 5-2. マーケティングコンテスト

- ・実習成果の発表の場として、コンテストを実施。
- ・企業の実習担当者等による学習成果の評価。



## 4. 実習日誌の記録

- ・その日に受けた指導内容、自己評価を記載。翌日の課題を明確にする。

販売実習報告書

項目	内容
1. 実習日時	
2. 実習場所	
3. 実習内容	
4. 実習時間	
5. 実習場所	
6. 実習内容	
7. 実習時間	
8. 実習場所	
9. 実習内容	
10. 実習時間	
11. 実習場所	
12. 実習内容	
13. 実習時間	
14. 実習場所	
15. 実習内容	
16. 実習時間	
17. 実習場所	
18. 実習内容	
19. 実習時間	
20. 実習場所	



# 企業等との連携による「ホテル実習」 《文化・教養分野》

4月

7月

10月

1月

1  
年次

ホテル総論、外国語コミュニケーション、ITスキル

業界ガイダンス

ホテル実習(10月～1月、400時間)

企業ガイダンス

2  
年次

外国語コミュニケーション、サービス実務

接客外国語、マネジメント理論、異文化理解

(総授業時数2,166時間)

## 1. 「企業連携委員会」により 実習に関する打ち合わせ

- ・企業のニーズに沿った実習内容や評価方法を設定。

委員会開催



## 2. 企業からの講師派遣による 事前研修・講義

- ・学生に対し、ホテルの実習担当者から事前研修・講義。



## 3. ホテル実習

- ・ホテルの実習担当者の指導の下で、接客等の実習。



## 6. 成績評価・単位認定

- ・ホテルの実習担当者による評価に基づき、教員が成績評価・単位認定。

成績評価・単位認定



## 5. ホテルの実習担当者による 評価

- ・学生が実習で修得した知識、勤務態度、接客態度、習熟度等を総合評価。



## 4. 実習先及び学内で実習の 進捗確認と教育指導

- ・教員による実習先訪問や、学生による実習の週間報告、月間報告の学内での確認により、必要な研修等を実施。





4月

7月

10月

1月

1  
年次

電気基礎理論、電気工事方法

電気工事实務(10月～3月、90時間)

2  
年次

設備工事、設備技術

電気演習・電気実験・電気製図

先端施工技術

(総授業時数2,070時間)

## 1. 「企業連携委員会」により 実習に関する打ち合わせ

- ・実習の目標、進め方、評価方法等について決定。



委員会開催

## 2. 企業と連携した教材開発

- ・実習で使用する教材について、企業から技術供与を受け、最新の実務を反映。



## 3. 企業からの派遣講師による授業

- ・業界の最新動向を踏まえた実践的な講義・演習を実施。



## 6. 成績評価・単位認定

- ・企業の実習担当者による評価に基づき、教員が成績評価・単位認定。

実習担当者総合所見

成績評価・単位認定

評価項目	評価	評価	評価	評価	評価
1. 実習態度	5	4	3	2	1
2. 実習能力	5	4	3	2	1
3. 実習成果	5	4	3	2	1
4. 実習態度	5	4	3	2	1
5. 実習能力	5	4	3	2	1
6. 実習成果	5	4	3	2	1

## 5. 企業と連携した実習

- ・太陽光発電設備を利用した企業の実習担当者による実習等。



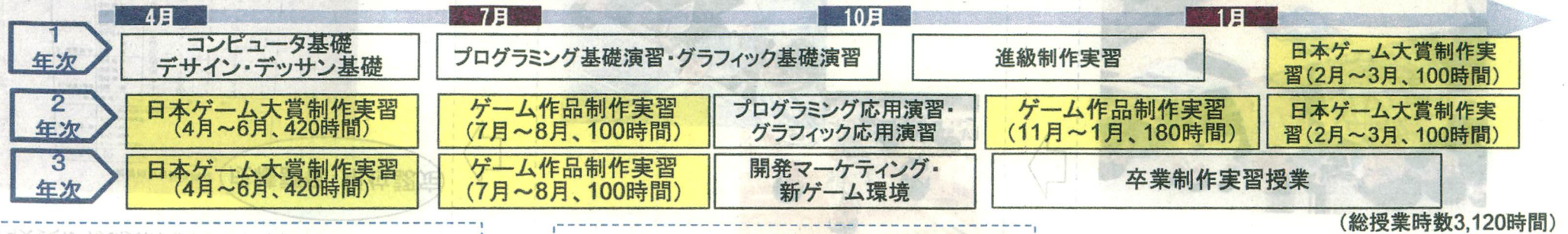
## 4. 企業による習熟度確認

- ・企業が作成した試験問題により習熟度の確認。



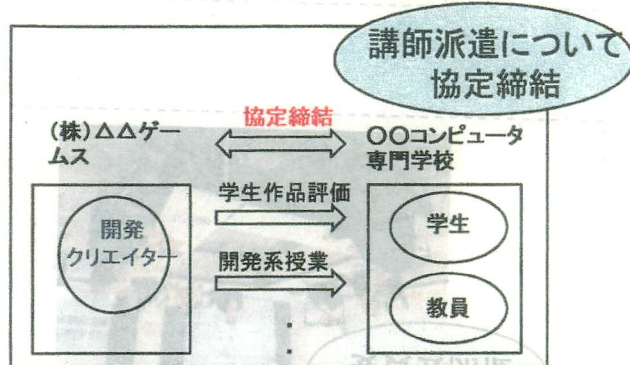


# 企業等との連携による「日本ゲーム大賞制作実習」「コンテスト作品制作実習」《工業分野》



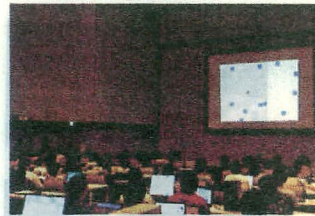
## 1. ゲーム企業との打ち合わせ

- ・年間の実習内容・評価方法を決定。
- ・講師派遣に関する協定締結。



## 2. ゲーム企業からの派遣講師による企画指導

- ・ゲームの企画方法を実務の経験に基づき指導。
- ・制作開始1ヵ月程度で生徒の企画内容の評価する授業を実施。



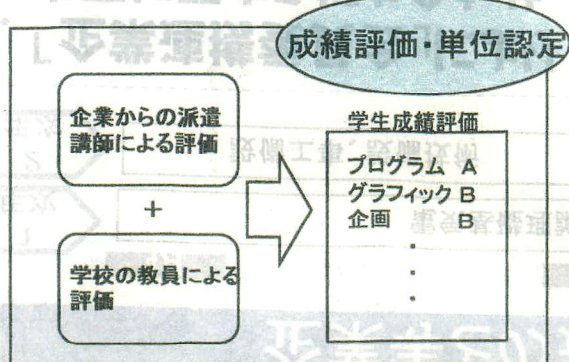
## 3. ゲーム企業からの派遣講師による中間評価

- ・学生による中間発表。
- ・企業からの派遣講師による評価、指導。



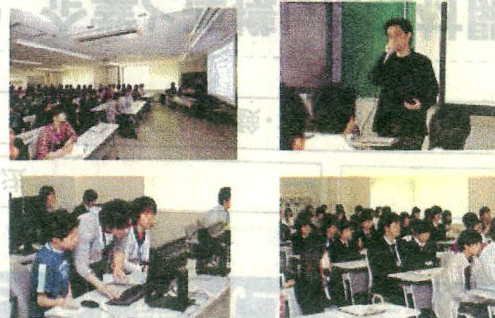
## 6. 成績評価・単位認定

- ・企業からの派遣講師による評価に基づき、教員が成績評価・単位認定。



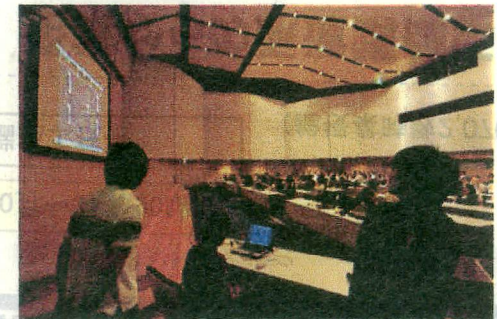
## 5. ゲーム企業からの派遣講師による実習授業

- ・企業からの派遣講師が最新の技術・技能を生徒に指導。



## 4. 最終プレゼンテーション

- ・企業からの派遣講師によるコンテスト提出前の最終確認。





# 企業等との連携による教員の研修機会の確保の具体例(工業分野)

企業等との連携による実践的かつ専門的な知識・技術・技能や、指導力の修得・向上のための組織的な研修機会を確保。

## 最新の知識・技術・技能

- 「電気工事技術教育課程編成委員会」を設置し、年2回会合を実施し、最新の技術や業界の動向などを把握の上、学校の研修計画を改善し、必要な研修を実施。
- 例えば、太陽光発電装置の施工は、技術革新が早い分野であるため、新技術が開発される毎に、職能団体の研修を受講させる。



## 適確な指導力

- 教育の専門家を招いて、授業の進め方やカリキュラム、シラバスの作成方法などに関する研修を実施。
- 例えば、学期(前期・後期制)毎に「教職員による授業評価」と「学生による授業評価」を最低1回実施し、学科長から個々の教員に結果を示して改善すべき点を指摘し、必要な研修を受講させる。





# 企業等との連携による学校評価のイメージ

## 自己評価

### 教職員による評価

学校の理念・目標に照らして、自らの教育活動を評価

**Check**  
評価

**Action**  
改善

**Do**  
実行

**Plan**  
目標設定

学校は評価結果を踏まえた学校運営の改善方策等の検討において活用

### 外部アンケート等

生徒・卒業生・保護者、企業・関係施設、業界団体、自治体等を対象に行うアンケートを、学校評価の資料等に活用

## 学校関係者評価

学校が選任した「学校関係者」で構成された  
学校関係者評価委員会による評価

自己評価の結果について、「学校関係者」が評価

企業等の「学校関係者」による  
学校訪問や意見交換等を通じて、  
自己評価結果について評価

- 「学校関係者」は、教職員と共通理解を図り、自己評価結果の客観性・透明性を高める
- 今後の学校運営の改善のための助言等を行う

「学校関係者評価委員会」  
構成員(例)

〇〇	〇〇	△△専門学校卒業生
〇〇	〇〇	生徒保護者
〇〇	〇〇	▽▽高等学校校長
〇〇	〇〇	××商業協会事務局長
〇〇	〇〇	□□商社人事部長
〇〇	〇〇	◇◇商業販売部長

学校へ報告

「学校関係者」による自己評価の  
評価結果についてとりまとめ・公表

「職業実践専門課程(仮称)」には、  
特に学校関係者評価において企業等  
の委員の意見の活用状況を求める